



とがみ

「やさしく かしこく たくましく」

山形市立滝山小学校

学校だより 第5号

令和7年11月28日

見る・聞く・味わう・作る・動く …感覚を刺激する楽しい体験

11/1、父母と教師の会主催の「ふれあい体験楽校」が行われました。

本校、父母と教師の会の特色ある活動として、滝山地区内外の皆様にもご協力いただき、今年度は15のプログラムが開催され、五感を働かせ楽しみながら体験することができました。様々なジャンルがあり、参加した子どもたちが目を輝かせながら取り組む姿が印象的でした。

荒井会長様はじめ、計画・準備・運営していただいた父母と教師の会・各種団体の皆様に心より御礼申し上げます。

<ご協力いただいた皆様>

木下社中様、東北芸術工科大学（総合美術コース、企画構想学科）様、国土交通省様、Panasonic 様、コミュニティナースやまがた様、Ryozen 様、読み聞かせの会様、滝山ミニバスケスポート少様、滝山 JVC スポ少様、本校父母と教師の会親 P・各専門部・母親委員の皆様



「喫茶去（きっさこ）」…まず一杯どうぞ



うれしい気持ちを楽譜にすると…



Ryozen のお二人の演奏

自分たちの音に自信をもって ~プラスバンド部の活動より~

本校プラスバンド部は、9/13の県大会からスタートし、10/4秋田・由利本荘市での東北大会、そして11/22大阪城ホールで開催された全国小学生バンドフェスティバルに出場しました。

今年度のテーマは「笑顔と感謝をとどけよう！最高の仲間とともに 明日へ Jump！」です。

大会では6分という制限時間の中での演奏が大きな条件の一つ。3曲構成で、1曲目が「Jump」、2曲目はアラジンと魔法のランプから「Friend like me」、3曲目は森山直太朗の「さくら」でした。日々の練習と大会を経験する中で、技能を高めていくことはもちろん、その都度よりよい発表になるにはどうしたらいいか、全員で振り返りながら進めているのがすばらしいところです。

今年度も、「滝山プラス上昇曲線」とでも言えるような、子どもたちの大きな成長を見ることができました。

若干調子が上がらなかった県大会から、急激な上昇カーブを描き、東北大会で見事金賞となり一気に全国へ。そして全国大会でも十分力を發揮することができました。全国大会銅賞は大きな成果です。

大会後、コーチの方が「素直でやる気のある子どもたちで、もっと時間をかけてあげたくなるんです。」とおっしゃっていました。

人間の成長に欠かせない資質の一つに「素直であること」が挙げられます。プラスバンドに限らず、小学校段階では様々な経験から心技体をどんどん成長させ、自分の好きなこと・得意なことに磨きをかけていってほしいと思います。

最後に、このように子どもたちが全国レベルで活躍できるのは、父母と教師の会とプラスバンド部保護者会、コーチの皆様の協力があってこそです。物心両面でのサポートに厚く感謝申し上げます。



大阪城ホールでの前日練習